第13卷 第1號 昆蟲 昭和14年1月

本邦產 *Polietes* 屬2種(双翅目，家蠅科)

加 藤 靜 夫

TWO UNRECORDED SPECIES OF THE GENUS *POLIETES* (DIPT. MUSCIDAE) FROM JAPAN.

By SIZUO KATO.

Polietes 屬はイヘバヘ科 (Muscidae) のトゲハナバヘ亞科 (*Phaoniinae*) に編入さるべき本邦より未記錄の1屬であるが，著者は本邦產イヘバヘ科中に本屬に屬する2未記錄種を査定し得たので，玆に小文を草して記錄することとした。

トゲハナバヘ亞科は胸側下剌毛 (hypopleural bristles) を缺く；普通中脈は先端彎曲せず翅端まで眞直ぐに延長してゐる；臀脈は翅の緣端まで達せず，途中で消失してゐる；後肢脛節の外面，中央より先端に近い箇所に必ず顯著な1本の長剛毛を有する等の點で他の亞科と區別することが出來る。

Polietes 屬は1866年に RONDANI 氏 (Bull. Soc. Milano, IX, p. 91) によつて創設せられたものであつて，その主な特徵を述べれば次の如くである。卽ち複眼には細毛密生し，觸角剌毛は長羽毛狀をなす。中剌毛 (acrostical bristles) は極めて顯著で2列をなし，菱狀部を除く中胸背の全長に亙りて生ず。翅の第4・5徑脈合脈 (r_{4+5}) の基部に數本の細毛を列生す。腹部は短太で，表面灰色粉を裝ひ，光線の具合で不規則な斑紋を顯はす。

種の檢索表

1(2) 平均棍は黃褐色。中脈の前半が前橫脈と後橫脈とで區切られる2切片の長さを比較すると，後橫脈と翅端間の方が前橫脈と後橫脈間より長い (Fig. 1. ab<bc)..........................*P. albolineata* FALLEN

2(1) 平均棍は黑褐色。上記中脈の2切片の長さは逆に前橫脈と後橫脈間

の方が後横脈と翅端間より長い (Fig. 2, ab>bc).....................
....*P. lardaria* FABRICIUS
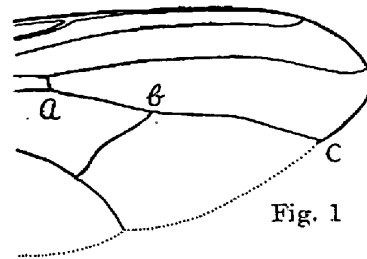
Fig. 1. *Polietes albolineata* FALLEN の翅
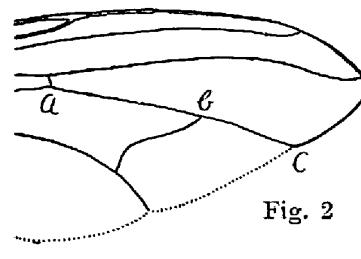
Fig. 2. *Polietes lardaria* FABRICIUS の翅

1. *Polietes albolineata* FALLEN

Musca albolineata FALLEN, Musc., p. 54, 38 (1823)

Anthomyia albolineata MEIGEN, S. B., V, p. 83 (1826); WALKER, Ins. Brit., II, p. 119 (1853).

Aricia albolineata SCHINER, Fauna Austriaca, I, p. 601 (1862).

Polietes albolineata MEADE, Descr. List. Brit. Anth., 1, p. 3 (1897); SCHNABL and DZIEDZICKI, Nova Acta, Die Anthomyiden, p. 219 [167] (1911); STEIN, Arch. für Naturgesch., LXXXI, 1915, Abt. A, Heft 10, p. 20 (1916); SÉGUY, Dipt. Anthomyides, p. 339 (1923); KARL, Tierwelt Deutsch., Teil 13, III: Muscidae, p. 18 (1928)

產地—樺太: 1♂ 1♀, 小沼, 23/VII, 1934, 渡邊千尙・井上武; 2♂♂, 一の澤, 15/VIII, 1923, 松村松年。

北海道: 1♀, 札幌, 採集年月日不明. 高野秀三。

分 布: 歐洲. 日本。

體は光澤のある黑色で, 胸背を後方より見ると3條の太い白色縱線があり, 中央のものは菱狀部に達し, 兩側のものは翅の基部で止る。腹部は黑色であるが,稍靑色を帶びた白色粉を以て覆はれ. 光線により不規則な斑紋を顯はすが. 腹背の中央には黑色の細い1縱線がある。本種は一見 *Morellia hortorum* FALLEN (セジロハナバヘ) に極めて酷似してゐるが. 中脈が眞直ぐに翅端まで延長して

ゐる點で明らかに區別が出來る。

體　長: 6.5～7.5 mm.

2. *Polietes lardaria* FABRICIUS

Musca lardaria FABRICIUS, Spec. Ins., II, p. 436, 5 (1781).

Anthomyia lardaria MEIGEN, S. B., V, p. 83 (1826); WALKER, Ins. Brit., II, p. 119 (1853).

Aricia lardaria SCHINER, Fauna Austriaca, I, p. 601 (1862).

Polietes lardaria MEADE, Descr. List. Brit. Anth., 1, p. 3 (1897); SCHNABL and DZIEDZICKI, Nova Acta, Die Anthomyiden, p. 219 [167] (1911); SÉGUY, Dipt. Anthomyides, p. 340 (1923); KARL, Tierwelt Deutsch., Teil 13, III: Muscidae, p. 19 (1928).

產　地—北海道: 1 ♀, 札幌, 3/X, 採集年不明, 松村松年; 1 ♀, 定山溪, 5/IX, 採集年不明, 松村松年; 1 ♀, 札幌, IX, 1922, 高野秀三。

本　州: 2 ♀♀, 八幡平(秋田縣), 3/VIII, 1932, 著者。

分　布: 歐洲, 日本。

體は黑色で, 胸背には淡い白色粉を裝ひ, 黑色の4縱線がある。腹部の色彩は前種と略同樣である。本種は一見 *Muscina pabulorum* FALLEN (オホセアカクロバヘ) に酷似してゐるが, 中脈の先端が彎曲してゐないことと, 菱狀部の先端が赤褐色を呈してゐない點で明らかに區別が出來る。著者は本種を山地の繖形科雜草の花上で採集した。

體　長: 11～12 mm.